



『宮沢賢治の生き方に学ぶ』
神代小学校 6年
藤村 天舞音

「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」
毎朝の詩の暗唱で覚えた宮沢賢治の作品。欲を出さず、人のために役に立ちたいという賢治の気持ちがよく伝わってくる。私は、もっと賢治のことを詳しく知りたいと思ひ、この本を読み始めました。成績優秀で、短歌、仏教、音楽など数多くの事を学んだ賢治。中でも力を入れたのが農業。そして詩や童話だった。賢治の生まれ故郷岩手は、冷害などの自然災害に見まわれることが多く、農作物が取れない土地。賢治は、苦しむ農民が安心して農業ができないものかと思ひ、農業を学んだ。そして、羅須知人協会や肥料の無料相談所を設け、農民に指導しながらな



審査委員長の西宮陽助氏
「応募作品はすべてが素晴らしく、どれに賞をあげたらいいか迷った」



んとか力になるうとした。詩や童話は、動物も植物も人間も、この宇宙に存在するものは同じ重さの命をもつと考える賢治の思いを伝える方法だった。私は、苦しむ農民の力になるうと自分自身で動いたことや、この宇宙に存在するものの差別をなくし、命の尊さを伝えようとしたことが、賢治のすばらしさだと思ふ。私も将来は、人のために役に立ちたいと思つている。しかし、賢治のように人のために命をかけてまでも役に立とうとする生き方が私に果たしてできるだろうか。

三月十一日、東日本大震災。今でも私の目にはつきりと焼きついている。津波によって跡形もなく破壊された家々、人の泣きさけぶ声、地震や津波の怖さを初めて知った。賢治の生まれ故郷岩手も大津波により尊い命が一瞬で奪われ、多くの人が悲しんだ。

そんな時、賢治がいたならどうしただろう、私はふと思つた。たぶん、悲しむ人々のために、自らできることを必死にがんばつただろう。復興に向けての様子をニュースなどで見ているが、被災者の力になるうと行動する人々の姿があふれている。まるで、賢治

のようだ。私たちも募金活動をした。悲しい思いをした人々の力になりたい思いで呼びかけた。

あれから、まもなく一年。今の私は、人の役に立っているだろうか。そう思わせる出来事が起きた。校長先生の一言だった。「世の中のために自分ができることを考えてくれたでしょうか。」冬休み前に全校に出した宿題だった。私は、はつきりしていなかった。さらに校長先生は、思っているだけではだめだ、それを実行することが大切だとおっしゃっていた。その時私は、賢治の生き方そのものだと思つた。

私にできることは何だろうか。それは、全校が明るくなるように自分からあいさつをすること、給食準備や掃除で下級生のお手本となつて動くこと、困っている人に積極的に声をかけることなど、六年間で学んだ大切なことを下級生に伝えていくことなのではないか。

卒業まで二カ月。これらのことをがんばりたい。そして、賢治のように、人の喜びや悲しみを理解し、自ら人のために動くことのできる人間になりたいと強く思つた。

平成23年度 仙北市読書感想文 コンクール

今回が第1回目となる仙北市教育委員会主催の「平成23年度仙北市読書感想文コンクール」が行われ、仙北市内の小・中学校から合わせて121点の応募がありました。2月2日、10人の審査委員による審査が行われ、藤村天舞音さん（神代小学校6年）の「宮沢賢治の生き方に学ぶ」が仙北市長賞に選ばれました。2月21日には、仙北市総合情報センターで表彰式が行われました。



- 【仙北市長賞】**
藤村天舞音（神代小学校6年）
- 【角館図書館後援会長賞】**
千葉さりな（角館中学校2年）
辻楓（角館小学校4年）
- 【仙北市教育長賞】**
鎌田匠人（角館小学校2年）
小原悠大（神代小学校2年）
- 【入選（小学校低学年の部）】**
中島雪（松木内小学校2年）
- 【入選（小学校中学年の部）】**
安杖凌（角館小学校3年）
佐々木花純（角館小学校4年）
- 【入選（小学校高学年の部）】**
高橋智香（生保内小学校6年）
兵藤鈴夏（角館小学校5年）
- 【入選（中学校の部）】**
谷口結紀（角館中学校2年）
田中優（西明寺中学校3年）
- 【佳作（小学校低学年の部）】**
山口隆真（角館小学校2年）
畠山美々（松木内小学校2年）
浅利真穂（松木内小学校2年）
- 【佳作（小学校中学年の部）】**
草薙しほ（角館小学校4年）
藤田龍聖（角館小学校4年）
阿部惣一郎（西明寺小学校4年）
- 【佳作（小学校高学年の部）】**
木村亜依（白岩小学校5年）
木元聖（白岩小学校6年）
佐々木萌子（神代小学校5年）
- 【佳作（中学校の部）】**
高橋杏奈（角館中学校1年）
門脇千咲（角館中学校1年）
菅原咲子（角館中学校3年）

読書感想文コンクール
審査結果
（敬称略）